

Koyomi

2022 | 令和4年

vol.44 3/18 発行

CONTENTS

| | |
|----------------|---|
| Smile Pick Up! | 1 |
| こっそり聞かせてシリーズ | 2 |
| 部会発信 | 3 |
| 施設長リレーコラム | 4 |

ご利用者様の
笑顔がやりがい

Smile Pick Up!

しい よしき
椎慶樹さん

所属 / 特別養護老人ホーム歌代の里
職種 / 介護員
経歴 / 佐渡市生まれ
専門学校を卒業後、
特別養護老人ホーム歌代の里に入職
趣味 / 車・映画鑑賞



● 就職のきっかけ

高校の頃から福祉の仕事に就こうと
考えていました。しかしながら、福祉と
いっても様々な仕事があり、どうするべ
きか考えていた時、偶然開いた本のペー
ジに介護士が載っていて、身近に高齢者
も多かったことから介護の道に進もうと
思いました。

高校を卒業後、新潟市の専門学校で
福祉を学び、縁があつて現在の施設に入
職しました。

● 日々の楽しみ

車を運転することが好きで、休日は
ドライブに行くことが多いです。お勧
めのドライブコースは佐渡の「大野亀」
で、6月になるとカンゾウの花が咲きと
てもきれいです。他にも、車の展示を
見に行くことやカスタマイズすることも
好きで、コロナ禍でいつになるかわかり
ませんが、バイクの免許も取得したいと
思っています。

● これから

働き始めた頃は、色々なことを心配
し過剰な介護をしていました。経験を
積み、今では、緊張感を持ちつつも、
相手の意思を尊重した余裕のある
介護ができるようになりま
した。ご利用者様の笑顔
も増えたと思います。

ご利用者様の笑顔は
私にとって一番のやりが
いです。これからも直
接ご利用者様と関わり、
もっと笑ってもらえるよ
う頑張りたいです。

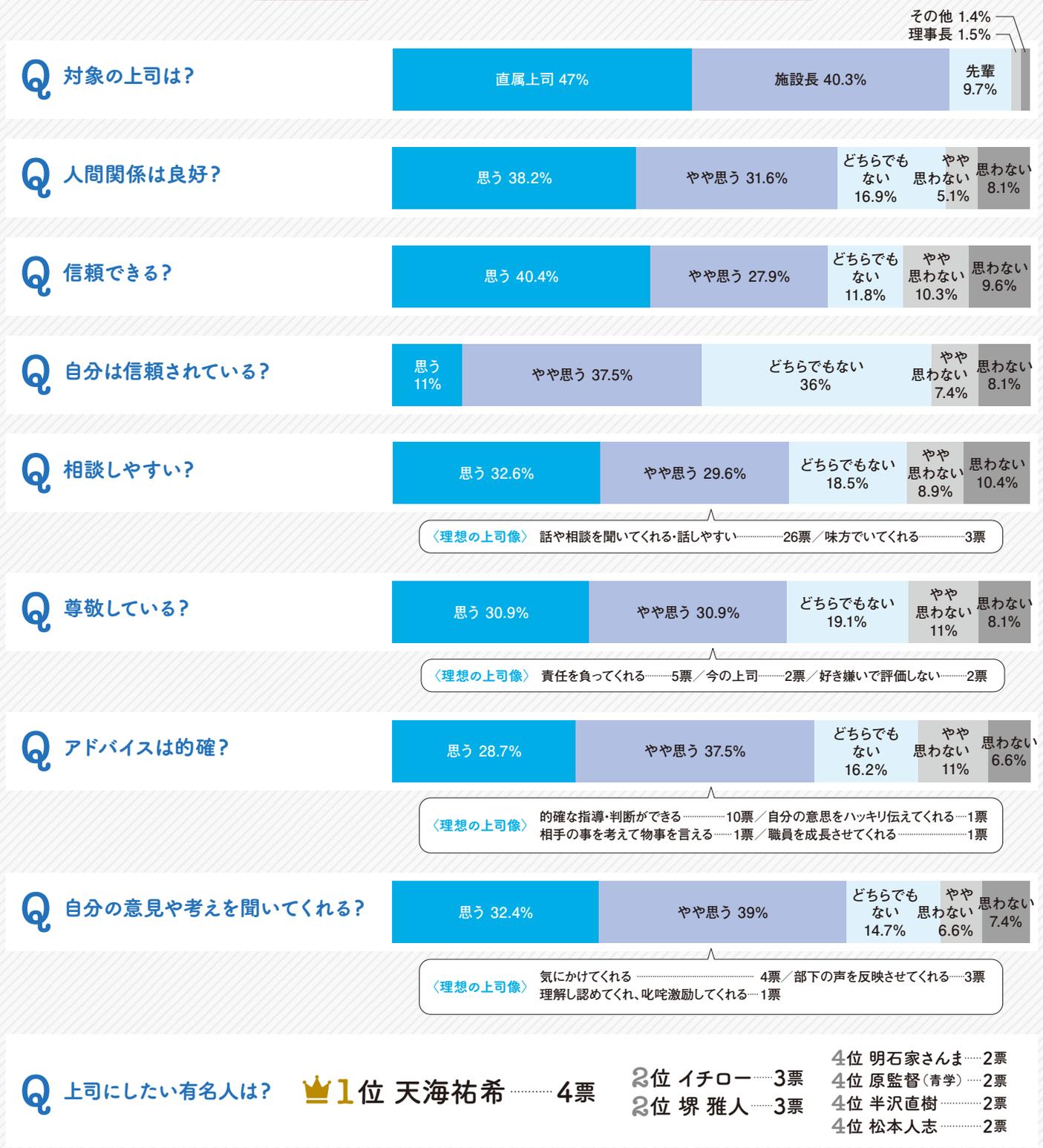
こっそり聞かせてシリーズ

上司編

コロナ禍により老施協の活動も制限を強いられている中、新たに“こっそり聞かせてシリーズ”をスタートしました。様々なテーマで会員の皆さんにアンケートを実施し、そのリアルな声を載せていきます。

今号のテーマは「上司編」とし、自分の上司についてどう思うか、理想の上司像など10個の質問に答えていただきました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

アンケート結果

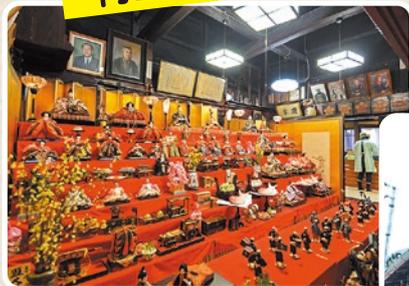




地元愛

私たちの施設と
観光名所

村上市



一大イベント人形様巡り



ご利用者様にも親しみ深く、
給食のメニューにも欠かせない鮭



村上のお酒と
笹川流れ海岸の夕日



新発田市



「城下町新発田祭り」で活躍する
金魚台輪。特別養護老人ホーム
豊浦愛宕の園に常時展示



阿賀野市



阿賀野市といえば「瓢湖の白鳥」
新しくリニューアルされる
道の駅にも期待

五泉市



金鶏盃酒造

近藤酒造



特別養護老人ホーム
結の里の
ご利用者も訪れる
「ラポルテ五泉」と
五泉市のお酒

関川村



特別養護老人ホーム垂水の里は
大蛇パレードの出発点

阿賀町



「狐の嫁入り」の花嫁・花婿さんが
特別養護老人ホーム東蒲の里に来園



阿賀町のお酒とパワースポット「将軍杉」



紙面で紹介しきれなかった
詳しいご紹介はこちらから



施設長 リレーコラム

連載 | vol.44

誰もが輝き続ける 場所となるように



モス・コーラデイホーム
施設長
きねふち なみこ
杵淵 浪子さん

モス・コーラデイホームは、社会福祉法人平成福祉会の二つ目の拠点として、平成26年6月小千谷市に開設しました。併設事業所として地域密着型特養があります。

小千谷ICを降りて、小国方面に1分ほど進むと当施設があります。高台にあるので見晴らしがとてもよく、夏には小千谷火花も見えるところです。

デイホームでは、毎日「おはよう!」「今日お願いします!」と玄関先から利用者様の声が聞こえてきます。その声が聞こえると「今日頑張ろう」という気持ちになります。私自身利用者様からパワーをいただいていることを日々実感しています。

私たちは「手間を惜まず、真心を込め、利用者様の心に添った、より良いサービスを目指します」という法人基本理念に基づき、事業運営を行っています。

コロナ禍で様々な制限がありますが、職員は「今この環境だからこそ、できることがあるのではないかと前向きにとらえ、利用者様の思いを実現できる個別の生活リハビリを考え、実現しています。職員が理念に沿って取り組んでいる姿勢は、とても頼もしく誇りに思います。

またデイホーム職員は、一人一人「持ち味」があります。互いの持ち味を活かしながら、いかに利用者様に楽しんでいただくか(最終的には職員が一番楽しんでいますが)アイデアを出し合い計画を立てています。今回の冬まつりでは「ヨシケンサンバ」で皆さんの大きな笑い声が響き渡りました。

認知症カフェ事業を毎年行っていましたが、コロナの影響で開催が難しくなりました。そのため今年度は認知症サポーター養成講座の依頼を受け、市内の中学校に伺いました。生徒さんからは認知症が身近なものだと感じた、否定せず優しく接したい等感想をいただきました。私たちはこれからも地域の方から必要とされ、利用者様が自分らしく輝き続けることができる支援を目指していきたいと思えます。



モス・コーラ
施設

「認知症サポーター養成講座」を中学校で開催。普段行っている体操を披露しました



調理
レクリエーションの
ひとコマ
うまく盛り付けが
できました!



今年の干支
「寅」を作成
しました

今年の冬まつりは「ヨシケンサンバ」で盛り上がりました
※マツケンには職員ヨシザワが仮装しました



モス・コーラデイホーム

- 事業所所在地 ● 小千谷市桜町3146-2
- 運営事業者 ● 社会福祉法人 平成福祉会
- 事業所の種類 ● 認知症対応型通所介護/12名
- 連絡先 ● TEL/0258-86-7072 E-mail/info@temari-care.com

施設概要

